

学習課題(小学校3年生)



【理科】

＜学習内容＞「物の重さをくらべよう」

◆「物の重さ調べ」（教科書 116～120 ページ）について、取組シートやノートにまとめよう。

- (1) 教科書 116 ページ「レッツスタート」を参考^{さんこう}に、同じ重さのねん土をいろいろな形にして、重さをくらべましょう。形を変えると手で感じる重さはどうなるのか、くらべてみましょう。

例)

ねん土を平らにしたときの手ごたえ	ねん土を丸めたときの手ごたえ

※ねん土が用意できない場合、紙などを使って、形を変えると重さはどうなると思うか、予想を書きましょう。

- (2) 物は、形をかえると、重さかわるのか調べます。教科書 119 ページ「じっけん1」を参考に、ねん土、アルミニウムはく、新聞紙などの形をかえて、重さかわるか調べましょう。

※電子てんびんのかわりに「キッチンスケール」や、「はかり」をつかって重さをはかることができます。

※重さをはかることができない場合は、教科書 119 ページの写真を見て、ねん土とアルミニウムはくの「まるめたとき」「細かく分けたとき」「平らにしたとき」に重さはどうなると思うか、予想を書きましょう。

	しらべる前の重さ	まるめたとき	細かく分けたとき	平らにしたとき
ねん土				
アルミニウムはく				

- (3) 実験の結果と、教科書120ページの「けっか」「考えよう」「まとめ」を参考に、重さは形をかえるとどのようになるのか、まとめましょう。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、物は形が変わっても重さは変わらないことに気付くことを大切にしています。
- ・平らにした粘土と、丸めた粘土では、手で持ったときに重さの感覚が異なります。それでも、はかりに乗せると同じ重さになることから、「手で持った時は違う感じがしたのに、計ったら同じなんだね。」「不思議だね、もう一回のせてみようか。」と、感覚との違いに気付くことができるように関わっていただくと効果的です。
- ・実際に重さの間隔の体験を通して、理解を深める学習です。粘土やはかりなどは、なるべく準備をして、実際に取り組みながら学習をしてください。